野村サステナビリティクォータリー　バックナンバー

（2020年春号～2024年夏号）

2020年春号(創刊号, Vol.1 No.1)

理事長挨拶	創刊によせて	野村資本市場研究所取締役社長 兼 野村サステナビリティ研究センター 理事長　飯山　俊康
時流	世界におけるグリーンファイナンスの展望	気候債券イニシアティブCEO 兼 共同 創業者　ショーン・キドニー
	新型コロナウイルス感染症対応にかかる国際金融公社の取り組み	国際金融公社　シニア・ファイナン シャル・オフィサー　安井　真紀
	COVID-19危機を通じた企業と投資家におけるESGの取組方針への影響	ヘッド・オブ・ノムラ・グリーン テック　ジェフ・マクダーモット
特集1：新型コロナウイルス感染症と サステナビリティ	新型コロナウイルス感染症とサステナブルファイナンス	江夏　あかね
	今次パンデミックにおいて求められる情報開示と投資家の対応	西山　賢吾
	新型コロナウイルス（COVID-19）が及ぼす想定外の減損リスク －求められるリスク情報の積極的な開示－	板津　直孝
	パンデミックの影響と2020年株主総会・議決権行使	西山　賢吾
特集2：低炭素経済社会への移行 「トランジション」	サーキュラーエコノミーへの移行と金融資本市場	江夏　あかね、片寄　直紀
	ASEANにおける再生可能エネルギーの利用状況と資金調達の動向	北野　陽平
	EUベンチマーク規則の改正 －気候ベンチマークとESG関連開示－	江夏　あかね、磯部　昌吾
ESG/SDGs	ESGの社会（S）課題としての「ビジネスと人権」	西山　賢吾
	会社法改正とコーポレートガバナンス改革	西山　賢吾
	欧州における金融市場参加者等を対象としたサステナビリティ開示規則	富永　健司、江夏　あかね
	BOEによる気候関連ストレステスト実施に向けた動き	林　宏美

2020年夏号(Vol.1 No.2)

時流	経済産業省の事業再編実務指針と事業切出し	学習院大学教授　神田　秀樹
	ポストコロナ社会における新しい社会保障の役割	慶應義塾大学経済学部教授・ファイ ナンシャル・ジェロントロジー研究 センター長　駒村　康平
	日本のサステナブルファイナンス・セクター拡充に向けた方策	東京工業大学　環境・社会理工学院 講師　キム・シューマッハ
特集1：新型コロナウイルス感染症と 「S」（ソーシャル）への着目	新型コロナウイルス（COVID-19）と個人データ保護 －多国籍企業に求められる取り組み－	板津　直孝
	サステナビリティ課題としての個人データ保護	板津　直孝
	コロナ倒産・廃業が懸念される中での新たな起業のあり方への期待	宮本　佐知子
	新型コロナ問題を踏まえた公立病院の持続可能性とソーシャルボンドによる資金調達	江夏　あかね
	ASEANにおいて重要性が高まる社会的インパクト投資	北野　陽平
特集2：公的部門のサステナビリティと 資金調達	ウィズコロナ時代のソブリンの資金調達 －ソブリンSDGs債の可能性－	江夏　あかね、富永　健司
	新型コロナウイルス感染症と地方公共団体の資金繰り －ポストコロナの地方債の安定調達に向けて－	江夏　あかね
ESG/SDGs	コーポレートガバナンス改革 －第3の道の可能性－	西山　賢吾
	純減が続く親子上場企業数	西山　賢吾
	サステナブル・ファイナンス・ハブを目指すルクセンブルク	林　宏美
	サステナブル・ファイナンスに特化したルクセンブルク・グリーン取引所	林　宏美
	グリーン／ブラウン資産の気候変動リスクの計測 －NGFSの取り組みから見える現状と課題－	磯部　昌吾

2020年秋号(Vol.1 No.3)

時流	SDGsと金融経済教育の推進	神戸大学経済経営研究所教授・副所 長　家森　信善
	SDGsの現状と今後の課題－新型コロナウイルス感染症を踏まえて－	慶應義塾大学政策・メディア研究科 教授　蟹江　憲史 慶應義塾大学政策・メディア研究科 特任助教　高木　超
	新型コロナウイルス感染症の大流行は気候変動対策を後押しするのか、 それとも妨げるのか	チャタムハウス　世界経済・金融プ ログラム ディレクター クレオン・バトラー
	カーボンプライシング（炭素の価格付け） ―脱炭素化に向けて不可欠な要素―	ノムラ・インターナショナル　ホー ルセール・ガバナンスオフィサー アンドリュー・ボウリー
特別寄稿	債券運用におけるESG定量評価モデルとパフォーマンスの検証	野村アセットマネジメント ジェイソン・モーティマー、 長生　太郎
特集1：社会的課題解決に向けた新論点	新型コロナ禍で揺らぐ所得保障とユニバーサル・ベーシックインカムの可能性	野村　亜紀子
	グローバル人権課題への対応が「待ったなし」となる日本企業	西山　賢吾
	社会的課題に対応するソーシャル・ファイナンス －英国の休眠預金の活用に学ぶ－	小立　敬
特集2：教育とサステナビリティ	家計から見た教育投資の価値	宮本　佐知子
	高等教育の持続可能性と大学SDGs債の未来	江夏　あかね
ESG/SDGs	「コロナの影響」を考慮し、「コロナ後」を展望した2020年6月株主総会	西山　賢吾
	我が国上場企業の株式持ち合い状況（2019年度）	西山　賢吾
	公的セクターのSDGs債の発展と展望－コロナ禍での論点－	江夏　あかね
	日本の社債市場で発行が拡大するグリーンボンドと今後の注目点	富永　健司
	非財務情報開示の現状の課題と内閣府令の改正	板津　直孝
	香港取引所が設立を公表したグリーン・サステナブル取引所STAGE	林　宏美、加藤　貴大
	資本市場からの資金調達の重要性が高まるインドの再生可能エネルギーセクター	北野　陽平

2021年冬号(Vol.2 No.1)

時流	「持続すべきもの」は何かーインフラ老朽化問題から見えるものー	東洋大学大学院教授・公民連携専攻長　根本　祐二
	環境政策とエンゲージメント	慶應義塾大学総合政策学部教授、Federated Hermes EOS 上級顧問 白井　さゆり
	シュタットベルケのサステナビリティ戦略と日本への示唆	立命館大学経営学部教授 ラウパッハ・スミヤ・ヨーク
特別寄稿	見えない価値を可視化するー第1回　見えない価値をなぜ可視化するのかー	野村インベスター・リレーションズ（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 佐原　珠美
	ESGと信用格付ーESG要素が信用力評価に与える影響ー	野村證券IBビジネス開発部（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 今川　玄
特集1：高まるESG評価への注目	重要性が高まるESG評価の現状と課題	富永　健司
	サステナビリティ指標を取り入れた業績連動報酬の課題	板津　直孝
	カーボンプライシングと金融資本市場ー新たなESGの評価軸への期待ー	江夏　あかね
特集2：環境面の新機軸	生物多様性がもたらす金融リスクおよび機会への取組み ー気候変動と並ぶ環境（E）ファクターー	林　宏美
	新型コロナウイルス感染症問題下で進展するグリーンリカバリーとトランジション・ファイナンス	江夏　あかね
	環境面でサステナブルな経済活動を分類するEUタクソノミー ー分類基準の概要と金融規制等における利用ー	磯部　昌吾
特集3：社会的課題とファイナンス	欧州におけるソーシャル・ファイナンスー市場の発展のためのレシピから学ぶー	小立　敬
	大学教育投資の産業別収益率ー家計から見た教育投資の価値（2）ー	宮本　佐知子
ESG/SDGs	2021年日本のコーポレートガバナンス改革の注目点	西山　賢吾
	ESG投資：引き続き個人への認知度向上が課題 ー個人投資家アンケートに見るESG、ESG投資への関心ー	西山　賢吾
	米国の州政府・地方公務員年金基金で進む包括的なESG投資の拡充	林　宏美、加藤　貴大
	2021年度地方債計画ーリーマンショック時の教訓を活かした起債運営の工夫ー	江夏　あかね

2021年春号(Vol.2 No.2)

時流	ESGと企業経営のあるべき姿ー経営者の力が差別化要素となるー	東京都立大学大学院経営学研究科教授　松田 千恵子
	ASEAN域内のサステナブルファイナンス市場の見通し	アジア開発銀行　金融セクター・スペシャリスト コシンタル・プオンソフォル
特別寄稿	見えない価値を可視化する ー第2回 企業にとって重要な指標とは？　環境「E」:「CO2排出量さえ開示すればよいのか」ー	野村インベスター・リレーションズ（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 佐原 珠美
	グローバル国債の気候変動リスク定量化とベンチマーク戦略 ー気候対応ベンチマークとキャリー・ロールダウン戦略の統合ー	FTSE Japan Ltd.　シニア・ディレクター　売野　隆一 野村證券株式会社　マネージング・ディレクター　菊川　匡
	ESG時代の新たな投資アプローチ ーポートフォリオのESGクオリティ向上とコンセンサスレーティング・ESGオーバーレイのポテンシャルー	ノムラ･セキュリティーズ･インターナショナル　ヘッド･オブ･クオンティティイティブ･エクィティ･ストラテジー ジョゼフ・メズリッチ
特集1：インパクト金融の潮流	持続可能な社会の実現に向けて不可欠なインパクトファイナンス	江夏　あかね
	社会的インパクトに焦点を当てるソーシャル・バンクートリオドス銀行の事例に学ぶー	小立　敬
特集2：サステナビリティ開示の進化	多様化するサステナビリティ報告の現状と課題 ーIFRS財団の協議文書とSASBのIIRCとの統合ー	板津　直孝
	EUのサステナブルファイナンス開示規則（SFDR）の開始 ー遅延する細則策定と各社の対応ー	磯部　昌吾、富永　健司
	非財務情報開示を拡充する監査報告改革 ーKAM（監査上の主要な検討事項）導入への期待ー	板津　直孝
特集3：ESG評価の活用と論点	投資家と指数によるESG評価の活用状況と論点整理	富永　健司
ESG/SDGs	主体的・能動的な対応が求められるCGコードの改訂	西山　賢吾
	日本におけるSDGs債市場の動向と2030年に向けた課題	江夏　あかね
	取締役会の多様性重視の機運と米国ナスダックの上場規則改正案	林　宏美
	米国の企業年金プランによるESG投資を巡る議論	岡田　功太、中村　美江奈

2021年夏号(Vol.2 No.3)

時流	サステナビリティと2021年コーポレートガバナンス・コード改訂	学習院大学 教授　神田　秀樹
	ESG評価と企業価値、企業ブランド	早稲田大学大学院 教授 根本　直子
	健康経営の展開と今後	産業医科大学産業生態科学研究所教授　森　晃爾
	ポストコロナ時代に向けた国際開発金融機関の挑戦 ー投融資と資金調達における国際金融公社の新たな取組みー	国際金融公社（IFC）　トレジャラー兼財務担当副総裁　ジョン・ガンドルフォ、シニア・ファイナンシャル・オフィサー　安井　真紀
特別寄稿	信用格付におけるESG要素の透明化ーESGに起因する格付アクションー	野村證券IBビジネス開発部（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 今川　玄
	マルチアセットを対象としたESGFスコアの開発と検証	野村アセットマネジメント 江口　朋宏、田村　彩香
特集1：サステナビリティと認証・評価	諸外国・地域のサステナブルファイナンス関連認証ラベルの現状と注目点	江夏　あかね、林　宏美、富永　健司
	不動産セクターとサステナブルファイナンスー評価・認証制度と共に続く発展ー	江夏　あかね、加藤　貴大
特集2：アジアにおけるサステナブルファイナンスの進展	シンガポールにおけるサステナブルファイナンスー公的部門主導の発展への期待ー	北野　陽平
ESG/SDGs	IFRS財団とEUが示すサステナビリティ情報開示の2つの方向性 ーソーシャルとフィナンシャル・インパクトの議論ー	板津　直孝
	自然資本関連リスク等の情報開示整備に向けたTNFDの正式発足ーTCFDの自然資本版ー	林　宏美
	拡大する世界のサステナブル投資残高ー米国が世界最大にー	西山　賢吾
	3分の2を超えた日本の純投資家保有比率 ー「緊張感を孕んだ相互信頼関係」の構築が重要にー	西山　賢吾
	親子上場の状況（2020年度末）ー4年ぶりに2桁の純減にー	西山　賢吾

2021年秋号(Vol.2 No.4)

時流	非財務情報開示の論点－ESG評価とESG投資のパラダイムシフト－	高崎経済大学 学長　水口　剛
	ポストコロナ禍でのESG地域金融－事業性評価の深化を目指せ－	神戸大学経済経営研究所長・教授 家森　信善
	脱炭素成長とカーボンプライシング	京都大学大学院 経済学研究科／地球環境学堂 教授　諸富　徹
	ネットゼロ移行に向けて明確な姿勢を示すことが求められる中央銀行と金融監督当局	ロンドン大学 東洋アフリカ研究学院 教授　ウルリッヒ・フォルツ
	カーボンプライシングへの市場メカニズム導入と森林投資	関　雄太
特別寄稿	見えない価値を可視化する －第3回 企業にとって重要な指標とは？ 社会「S」:「女性管理職比率で多様性が測れるか」－	野村インベスター・リレーションズ（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 佐原　珠美
特集1：ESG評価をめぐる論点	ESG投資の拡大と市場参加者に求められるESG評価の理解 －ESG評価の特徴と評価間のばらつきの事例－	富永　健司
	存在感を増すESG評価・データと規制当局の関与の検討 －信用格付けの歴史から得た教訓－	江夏　あかね
	ESG要素が企業業績や株価等に与える影響 －ESGパフォーマンスをめぐる先行研究のレビュー－	林　宏美、加藤　貴大
	EUグリーンボンド基準（EU GBS）の規則案の公表と今後の論点 －EUタクソノミーとの整合性と外部評価の厳格化がカギに－	江夏　あかね、富永　健司
特集2:中国における カーボンニュートラルの進展	カーボンニュートラルの実現を目指す中国 －カギとなるエネルギー構造と産業構造の低炭素化－	関　志雄
	中国の2060年カーボンニュートラル実現に向けた金融支援策 －市場メカニズムの活用による排出量削減に向けて－	関根　栄一
ESG/SDGs	人的資本の報告ガイドライン国際規格ISO30414－注目度高まる人的資本の情報開示－	西山　賢吾
	インパクト投資と受託者責任－社会的・環境的インパクトと経済的リターンの議論－	板津　直孝
	2021年6月株主総会と議決権行使 －コロナ対応、環境関連の株主提案への対応に特色が見られた－	西山　賢吾
	EUの新たなサステナブルファイナンス戦略	磯部　昌吾
	僅差で認可された取締役会の多様性要件を含むナスダックの改正上場規則	林　宏美

2022年冬号(Vol.3 No.1)

時流	1万人×1万箇所＝1億人－地域を持続可能にする拠点集約化プラン－	東洋大学大学院 教授・公民連携専攻長　根本　祐二
	SDGsに貢献するサステナビリティ経営と企業価値	神戸大学経済経営研究所 副所長・教授　西谷　公孝
	気候変動を緩和するか、気温上昇を受け入れるか －日本企業が設定する環境パフォーマンス目標に関する実証研究の結果－	早稲田大学 商学学術院 准教授・ガバナンス＆サステナビリティ研究所 所長　ジョエル・マレン
	カーボン取引市場の進化	ノムラ・インターナショナル ホールセール・ガバナンスオフィサー アンドリュー・ボウリー
特別寄稿	信用格付けにおけるESGスコアの事例 －Moody's, S&Pが順次公表、評価に差異も－	野村證券IBビジネス開発部（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 今川　玄
特集1：気候変動問題の ビジネス・ソリューション	気候変動問題の解決に取り組むクライメートテック －誰がCO2削減のためのイノベーションに投資するのか？－	竹下　智
	排出権取引をビジネス化する欧州金融業界	磯部　昌吾
特集2：気候関連リスクの 金融規制監督と開示	気候関連金融リスクのバーゼル規制上の取扱い －提案されたプリンシプル・ベースの監督・規制の枠組み－	小立　敬
	プライム市場で求められる気候関連情報開示 －TCFDの提言に基づく開示と現状の課題－	板津　直孝
ESG/SDGs	人工知能（AI）技術を活用するESG評価の現状と課題	富永　健司
	ジェンダー関連金融と日本のサステナビリティ課題解決に向けた論点	江夏　あかね、植田　剛将
	個人投資家への漸進的な浸透が続くESG、ESG投資 －若年層に向けたアプローチは課題－	西山　賢吾
	500兆円を超えた日本のサステナブル投資残高 －運用手法や資産クラスも多様化－	西山　賢吾
	2022年度地方債計画－持続可能な財政運営と脱炭素化の両立に向けて－	江夏　あかね
	ESG要素の取り込みを通じてブランド力強化を図るロンドン証券取引所	林　宏美
	グリーンファイナンスの促進に向けたASEANの取り組み －ASEANタクソノミーの導入を中心に－	北野　陽平

2022年春号(Vol.3 No.2)

時流	環境・社会的課題解決に向けて期待されるブレンデッド・ファイナンス	慶應義塾大学総合政策学部 教授 白井　さゆり
	持続可能なインバウンド・ビジネスと日本型サーチファンドの可能性 －地域ビジネス活性と観光との連携－	早稲田大学 教授　池上　重輔
	SDGsに貢献するPPPの取り組み－People-first PPPとその実践事例－	東洋大学大学院 教授　難波　悠
	責任投資の魂とステークホルダー資本主義	PRI（国連責任投資原則）理事・日本生命保険 執行役員　木村　武
	EUソーシャル・タクソノミーの導入に向けて－長い道のりの第一歩－	ノムラ・インターナショナル 投資銀行部門 ヘッド・オブ・サステナブルファイナンス ヤレック・オルシューカ
	ディーリングルームにも浸透してきた道義心を重んじる取引慣行	ノムラ・インターナショナル ホールセール・ガバナンスオフィサー アンドリュー・ボウリー
特別寄稿	見えない価値を可視化する －第4回　ガバナンス「G」:「サステナビリティを含めたガバナンスの可視化とは」－	野村インベスター・リレーションズ（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 佐原　珠美
特集1：ネットゼロ達成に向けた展開	気候リスクに対応する金融監督・規制の現在と将来 －バーゼルⅢはどのように対応できるのか？－	小立　敬
	炭素国境調整メカニズムを講じる欧州の動向 －国際課税を通じた気候関連の移行リスク－	板津　直孝
	ネットゼロの達成に向けて発展するグリーン国債 －英国の個人向けグリーン国債の事例－	江夏　あかね、富永　健司
	シンガポールで注目が高まるカーボンクレジット取引 －国際的な取引所ACXとCIXの動向を中心に－	北野　陽平
特集2：日本企業のESG対応と課題	2022年議決権行使の注目点 －「プライム市場」と「サステナビリティ課題」への対応が中心－	西山　賢吾
	我が国上場企業の株式持ち合い状況（2020年度） －緩やかな持ち合い解消、政策保有株式削減の動きが続く－	西山　賢吾
ESG/SDGs	不平等の是正に向けた取り組みと金融 －日本におけるSDGsの目標10の達成に向けて－	江夏　あかね、加藤　貴大
	注目されるIFRSサステナビリティ開示基準 －TCFDと同等の枠組みに基づく国際的な基準開発の進展－	板津　直孝
	IOSCO報告書に見るESG評価・データの活用及び対話の重要性	富永　健司

2022年夏号(Vol.3 No.3)

時流	有価証券報告書の定時株主総会前提出への道	学習院大学 教授　神田　秀樹
	情報開示KPIの議論を超えて－戦略立案・落とし込み・実行－	東京理科大学大学院 教授 加藤　晃
	地域経済エコシステムと地域金融機関のサステナビリティ	日下企業経営相談所 代表 日下　智晴
	サステナブルファイナンスは何処へ向かうのか －気候/人権対応を踏まえたESG投資とリスクマネジメント－	第一生命ホールディングス㈱ 経営企画ユニット フェロー 兼 第一生命保険㈱ 運用企画部 フェロー 銭谷　美幸
	職場を通じたファイナンシャル・ウェルネスの追求	野村資本市場研究所 研究部長・ 野村資産形成研究センター センター長　野村　亜紀子
特別寄稿	サイバーリスクと信用格付 －警戒強める格付会社、攻撃前でも格下げの可能性－	野村證券IBビジネス開発部（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 今川　玄
	野村證券アナリストの目を通した日本企業のESG対応 －環境を中心に事業機会と捉える前向きな動きも広がる－	野村證券エクイティ・リサーチ部 ESGチームヘッド　若生　寿一
特集1：非財務情報開示の展開	IFRSサステナビリティ開示基準の策定動向－公開草案で具体化された開示要件－	板津　直孝
	人的資本情報開示の近況－法定開示化の進展と任意開示の深化－	西山　賢吾
	自然関連リスクと機会に関する情報開示指針TNFDのベータ版公表 －TCFDとの平仄を合わせた開示を目指した試作版第一弾－	林　宏美
	気候関連情報開示を要請する米国の動向－SECが公表した特徴的な規則案－	板津　直孝
	持続可能な社会の実現の一助となり得るインパクト加重会計	江夏　あかね
特集2：新しい資本主義をめぐる論点	新しい資本主義と社会的ファイナンス －社会的課題の解決を図る新たな金融モデルの推進－	小立　敬
	米国のベネフィット・コーポレーション －社会的課題の解決を後押しする企業形態－	橋口　達
ESG/SDGs	クリエイティブ・エコノミーへのインパクト投資 －文化芸術団体による新たな資金調達手段－	竹下　智
	「真のESG投資」に資するESG投資戦略の明確化 －ESG統合フレームワークの活用によるESG統合の深化への期待－	富永　健司
	生物多様性の視点を投資判断に統合することを目指す取組み －オランダの大手資産運用会社ロベコの事例－	林　宏美
	香港のカーボンニュートラルへの取り組みと個人向けグリーン政府債	富永　健司
	親子上場の状況（2021年度末） －前年度比29社純減：東証の市場改革で企業再編が加速－	西山　賢吾

2022年秋号(Vol.3 No.4)

時流	サステナブルファイナンスの現在地	高崎経済大学 学長　水口　剛
	サステナブルバンキングと日本の地域金融機関	神戸大学経済経営研究所長・教授 家森　信善
	カーボンニュートラル達成へ向けたカーボン・クレジットの活用 －「カーボン・クレジット・レポート」を読み解く－	早稲田大学環境経済・経営研究所 所長、経済産業研究所 ファカルティフェロー　有村　俊秀、早稲田大学環境経済・経営研究所 研究助手 森村　将平
	持続可能な財政の重要性	政策研究大学院大学 教授 羽白　淳
	グリーンウォッシュ問題への対応が進む－年金基金の対応を考える－	野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング コンサルタント　高田　晴夏
特別寄稿	見えない価値を可視化する－第5回「サステナビリティ経営の可視化」－	野村インベスター・リレーションズ（野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 佐原　珠美
	サイバーリスクと企業価値－今、投資家に求められることは－	野村総合研究所 上級研究員 三井　千絵
	持続可能で強靭な投資のためのサイバーセキュリティ評価の ESG・信用リスク分析への統合	野村アセットマネジメント 債券サステナブル・インベストメント・ヘッド　ジェイソン・モーティマー
特集1：非財務情報開示の進展	重要性が高まる非財務情報開示と今後の論点	江夏　あかね
	TCFDの自然資本版TNFDのベータ版第二弾公表 －評価指標と情報開示指標を区別するアプローチ－	林　宏美
	企業サステナビリティ報告指令原案の暫定合意 －拡大するEU域外企業グループへの影響－	板津　直孝
	金融機関の投資先からの温室効果ガス排出量の開示 －持続可能なポートフォリオの構築－	板津　直孝
	PCAF基準及び温室効果ガス排出量の削減目標を通じて脱炭素化を推進する 資産運用会社等の挑戦	富永　健司
特集2：人権問題への焦点	日本でも注目される人権デュー・ディリジェンス －社会課題の中核である人権尊重への取り組み－	西山　賢吾
ESG/SDGs	機関投資家から見たサイバーセキュリティ －サステナブルな情報化社会実現に向けた論点整理－	江夏　あかね
	サステナブル・ファイナンスへの活用が期待されるブレンデッド・ファイナンス	小立　敬
	株式保有構造の変化が促す「企業と株主・投資家との新しい関係」構築	西山　賢吾
	グリーンファイナンスのハブを目指すシンガポール初のグリーン国債発行	北野　陽平
	欧州ESG市場を席巻する米国の金融事業者	磯部　昌吾

2023年冬号(Vol.4 No.1)

時流	SDGsの限界と展望	東洋大学大学院 教授 公民連携専攻長 根本 祐二
	「ネット炭素税」による最適ポートフォリオの再構築とグリーンボンド	慶應義塾大学経済学部 名誉教授 吉野　直行
	サステナビリティ情報の法定開示－分析（Analysis）と統合（Synthesis）－	東京都立大学大学院 経営学研究科 教授 松田　千恵子
	ルールを編み出すEUと気候変動対策	関西大学 商学部 教授 高屋　定美
	IPCC報告書と環境ファイナンス－求められる社会システムの変革－	国立研究開発法人森林研究・整備 機構 森林総合研究所 主任研究員 森田　香菜子
	気候変動及び脱プラスチックによる世界経済の変化	杏林大学総合政策学部 教授 斉藤　崇
	マレーシアにおける環境・社会・ガバナンス（ESG）投資－課題と機会－	マレーシア資本市場研究所（ICMR） アソシエイト・ディレクター ゴピ・クリシュナン K.K ヴィジャヤ ラガヴァン マレーシア資本市場研究所（ICMR） データ・アナリスト ジュリアナ・ロスラン
	サステナブル・ファイナンスの次の局面	ノムラ・インターナショナル 野村グループ・サステナビリティ・ ストラテジー マネージング・ディレ クター　アンドリュー・ボウリー
	ガバナンスの一環としてのサプライチェーンマネジメント －企業価値向上のために不可欠な経営戦略へ－	野村證券 エクイティ・リサーチ部 ESGチームヘッド 若生　寿一
特集1：金融機関のサステナビリティ経営の焦点	重要性の概念が異なるGHGプロトコルとPCAF －投資先のGHG排出量を開示する目的の明確化が重要－	板津　直孝
	気候関連金融リスクの監督・規制の現状と課題 －政策ツールの開発における初期的な知見－	小立　敬
特集2：米国におけるESGの潮流	米国年金プランのESG投資を巡る政策 －ESGファンド事業に伴う政治的リスクの増大－	岡田　功太、中村　美江奈
ESG/SDGs	インパクト投資の国際的な潮流 －受託者責任とインパクト測定に有用な枠組み－	板津　直孝
	近年浮上した生物多様性ファンド設定の動き －生物多様性関連データ整備やツール拡充が必須－	林　宏美、 松永　典子（NHIサステナビリティ推 進室）
	健康経営がもたらす効果と市場評価の改善の好循環 －国内企業の健康経営への取り組みの現状と課題－	富永　健司
	2022年6月株主総会議決権行使結果と今後の注目点 －不祥事とサステナビリティへの高い関心－	西山　賢吾
	2022年は個人投資家のESG、ESG投資への関心の高まりに一巡感 －若年層や短期志向投資家では関心が高まる－	西山　賢吾
	2023年度地方債計画 －世界初のグリーン共同発行地方債発行と起債運営に向けた論点－	江夏　あかね
	香港取引所によるカーボンクレジット市場の創設 －グレーターベイエリア統合カーボン市場構築への一歩－	北野　陽平
	少子高齢化が加速する中国－日本との比較を中心に－	関　志雄

2023年春号(Vol.4 No.2)

時流	気候変動に対する中央銀行・金融規制当局の対応	慶應義塾大学総合政策学部 教授 白井　さゆり
	マイナスのパイを切り分ける－人口減少時代の地方自治－	元大津市長・三浦法律事務所 弁護士・OnBoard株式会社 CEO 越　直美
	江戸時代の豪商に求められた社会的責任	神戸大学経済経営研究所 准教授 高槻　泰郎
	気候変動政策の捉え方を理解する	国際通貨基金 財政局 局長補 エラ・ダブラ＝ノリス 国際通貨基金 アジア太平洋地域 事務所長　吉田　昭彦
	人口減少・少子高齢化とインフラ老朽化を乗り越えて －地方自治行政の構造的な課題－	野村證券 顧問　黒田　武一郎
特別寄稿	ESGに起因する信用格付アクションの事例 －公的関与の影響はポジティブ・ネガティブ両様－	野村證券IBビジネス開発部（野村資 本市場研究所 野村サステナビリティ 研究センター 客員研究員） 今川　玄
	脱炭素社会におけるコーポレート・ファイナンス戦略 －事業ポートフォリオ・マネジメント、脱炭素投資の例示－	野村證券金融工学研究センター クオ ンツ・ソリューション・リサーチ部 ストラテジック・ソリューション・ グループリーダー　杉下　裕樹
	『気候関連の機会における開示・評価の基本指針』の論点と展望 －GX経営の促進に向けて－	野村ホールディングス サステナビリティ企画部 VP 濟木　ゆかり
特集1：米国のサイバーリスク規制の展開	サイバーセキュリティに関わるSECの開示規則案 －広範囲に及ぶインシデントの懸念と情報開示－	板津　直孝
	米国証券市場におけるサイバーセキュリティリスク対処に向けたSEC規則案の公表	江夏　あかね、門倉　朋美
特集2：非財務情報開示の進展	企業内容等の開示に関する内閣府令等の改正 －サステナビリティに関する企業の取組の開示－	板津　直孝
	ESGファンド等に対するSECの情報開示規制案 －ESGウォッシュの懸念と投資家保護－	板津　直孝
	金融向け生物多様性共通会計を目指すPBAF基準 －期待されるTNFD枠組み等との相乗効果－	林　宏美
ESG/SDGs	トランジション・ファイナンスの現状と脱炭素社会を生き抜くための企業金融	江夏　あかね
	期待される健康経営の普及・深化とESG評価の向上 －米国におけるPDCAサイクル活用の好事例－	富永　健司
	大量保有報告制度の見直しが始まる －ガバナンス改革「残された課題」への取り組み－	西山　賢吾
	我が国上場企業の株式持ち合い比率（2021年度） －保有合理性とともに資産効率性が一段と注目される－	西山　賢吾
	2023年6月株主総会の注目点 －「資本効率性向上」への関心回帰とガバナンス改革の実質化－	西山　賢吾
	中国とEUのコモン・グラウンド・タクソノミーの概要	宋　良也
	インドの脱炭素化に向けた取り組みの強化 －グリーン国債発行と国内カーボン市場の創設を中心に－	北野　陽平

2023年夏号(Vol.4 No.3)

時流	韓国の持続可能な金融の現状と課題：環境と金融	延世大学環境金融大学院 主任教授　玄　爽
	サステナブルファイナンスの本質－これからの運用会社に求められるもの－	野村アセットマネジメント 責任投資調査部長　今村　敏之
特別寄稿	市場から評価されるESG開示とは	名古屋商科大学大学院マネジメント 研究科 教授　大槻　奈那
特集1：非財務情報開示の展開	開示枠組の全体像が示されたTNFDベータ版の集大成v0.4 －グローバル生物多様性枠組との関連性が明示されたコア開示指標－	林　宏美
	インパクト加重会計の進展と企業による価値向上に向けた挑戦	江夏　あかね
特集2：アジアの移行金融の進展	脱炭素化への移行に向けた取り組みを強化するASEAN －重要性が高まるトランジション・ファイナンス－	北野　陽平
	グリーンパンダ債とトランジションボンドの発展 －中国におけるサステナブルファイナンスの新たな潮流－	宋　良也
特集3：海洋経済の論点	国家・地域戦略としてのブルーエコノミーの展開－日本、セーシェル及びEUの事例－	門倉　朋美、江夏　あかね
ESG/SDGs	ESG投信の金融商品取引業者等向け監督指針の改正 －日米欧のファンドのESGウォッシュ規制動向－	板津　直孝
	自然災害リスクと金融の役割－CATボンドの活用可能性を中心に－	富永　健司
	親子上場の状況（2022年度末） －16年間で半減、今後は公開買付制度見直し議論にも注目－	西山　賢吾
	さらなる削減が進む政策保有株式 －「過大な政策株式保有」に対する投資家の厳しい「眼」を反映－	西山　賢吾
	サステナブル投資は「量」から「多様化」、「質」への転換期に －日本のサステナブル投資残高（2022年）－	西山　賢吾
	米国民主党政権下のSECによるコーポレートガバナンス規制改革	橋口　達
	ファンド投資家に議決権行使をパススルーするブラックロックの ボーティング・チョイス	橋口　達
	EVシフトをテコに日本を追い上げる中国の自動車産業 －注目すべき新興民営企業の台頭と生産のモジュール化－	関　志雄

2023年秋号(Vol.4 No.4)

時流	サステナブル投資とインパクト	高崎経済大学 学長　水口　剛
	個人投資家の金融リテラシーとサステナブルファイナンス	神戸大学経済経営研究所 教授 家森　信善
	沖縄の貧困問題	財務省 財務総合政策研究所長 渡部　晶
特別寄稿	ミレニアル世代とZ世代のサステナブル・ファイナンスに対する考え方を理解する －マレーシアの観点－	マレーシア資本市場研究所（ICMR） リサーチ責任者　ダティン・アイー ダ・ジャスリナ・ジャラルディン マレーシア資本市場研究所（ICMR） リサーチ・アナリスト ナディラー・イブラヒム
特集1：自然資本の計測と開示の展開	自然関連財務情報の開示枠組の最終版を公表したTNFD	林　宏美
	自然分野の科学に基づく目標設定方法を公表したSBTN －TNFDの開示枠組と連携－	林　宏美
特集2：自社株買いの論点	自社株買いにESG要素を採り入れる欧州企業	関田　智也
	自社株買い等による短期の株主還元の議論 －長期のイノベーション循環とのバランス－	板津　直孝
ESG/SDGs	ブルーファイナンスを促進するブルーボンド実務者ガイドと日本の課題	江夏　あかね、門倉　朋美
	企業のサイバーセキュリティリスクとサイバー保険	富永　健司
	日本のCG改革の示唆となる英国CGコード改訂 －方向は異なるがともに取締役会の機能強化を重視－	西山　賢吾
	我が国上場企業の株式持ち合い比率（2022年度） －サステナビリティの観点からも持ち合い解消が注目される可能性－	西山　賢吾
	香港におけるグリーンファイナンスの促進に向けたブロックチェーン技術の活用	北野　陽平

2024年冬号(Vol.5 No.1)

時流	PPPの新しい動き	東洋大学大学院 教授 公民連携専攻長　根本　祐二
	国際連合気候変動枠組条約第28回締約国会議（COP28）－成果と実績－	野村インターナショナル マネージング・ディレクター、サステナビリティ・マネジメント・オフィサー エラ・チャールフォン 野村ホールディングス サステナビリティ企画部 ヴァイス・プレジデント 濟木　ゆかり
	非財務情報に基づく価値の「見える化」－社会・環境価値の定量化－	野村インベスター・リレーションズ （野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター 客員研究員） 佐原　珠美
特別寄稿	気候トランジション・ファイナンスに対する世界の動向	慶應義塾大学総合政策学部 教授 白井　さゆり
特集1：アジアのサステナビリティの進展	ネットゼロに向けてカーボンクレジット取引の促進を図るASEAN主要国	北野　陽平
	持続可能な投資と長期資産形成の促進に向けたタイESGファンドの導入	北野　陽平
特集2：サイバーセキュリティと金融規制監督	金融機関に求められるサイバーセキュリティ対応 －日米金融当局・国際機関の動向－	門倉　朋美、江夏　あかね
	中国証券業におけるサイバーセキュリティの強化に向けた動き	関根　栄一、宋　良也
特集3：地方債の新展開	世界初の共同発行形式によるグリーン地方債 －地域のカーボンニュートラル達成に向けた一歩に－	江夏　あかね
	2024年度地方債計画－「金利がある世界」での起債運営の論点－	江夏　あかね
ESG/SDGs	世界のサステナブル投資残高（2022年） －米と他地域のESGを巡る動きの違いが顕現化－	西山　賢吾
	バーゼル委員会による気候関連金融リスク開示の提案 －第三の柱の下での銀行固有の開示－	小立　敬
	初めて公表されたTNFD早期採用者のリスト－国別内訳で日本が首位－	林　宏美
	発行体がインパクトの包括的管理にコミットするインパクトボンド	江夏　あかね
	2023年6月株主総会議決権行使結果と2024年以降の注目点 －投資家の意思が経営トップ取締役選任議案と株主提案に明示－	西山　賢吾
	英国CGコード改訂：大部分が撤回される－情報開示拡充よりも負担軽減を重視－	西山　賢吾

2024年春号(Vol.5 No.2)

時流	ネイチャーポジティブ経済移行戦略と金融	環境省 生物多様性主流化室長 浜島　直子
特別寄稿	バーゼル委員会市中協議文書に対する日本証券業協会の意見書 －気候関連金融リスク開示提案－	日本証券業協会 国際規制調査室長 中瀬　裕也
	サイバーセキュリティ・エンゲージメント－投資家向けガイド－	野村アセットマネジメント 債券サステナブル・インベストメント・ヘッド　ジェイソン・モーティマー
特集1：トランジション・ファイナンスの進化	日本国政府によるGX経済移行債の発行開始 －クライメート・トランジション利付国債の論点－	江夏　あかね
	トランジション・ファイナンス推進の機運が高まる欧州	関田　智也
特集2：欧米の情報開示規制の進展	欧州サステナビリティ報告基準に関する委任規則の公布 －欧州委員会による開示要件の緩和と日本企業の対応－	板津　直孝
	気候関連情報開示規則の米国SECによる採択 －スコープ3開示要件の削除を含む遵守負担の軽減－	板津　直孝
ESG/SDGs	日本企業の人権尊重への取り組みと国際的評価 －具体的な行動と情報開示が課題－	西山　賢吾
	デジタル・グリーンボンドの潮流と発展に向けた論点	江夏　あかね、橋口　達
	サイバーセキュリティと企業価値－投資家による評価と効果的な情報開示－	江夏　あかね
	企業の事業・サプライチェーンと自然災害リスク －TCFD開示に見る国内企業の対応とエンゲージメントのポイント－	富永　健司
	2024年6月議決権行使の注目点アップデイト －「PBR1倍割れ」に関連する議決権行使基準導入が進む－	西山　賢吾
	株価上昇期における個人投資家のESG、ESG投資への関心 －関心の戻りの中でESGと投資収益のバランス重視志向強まる－	西山　賢吾
	英国政府の生物多様性ネットゲイン（BNG）政策 －生物多様性オフセットの概念の活用－	林　宏美

2024年夏号(Vol.5 No.3)

時流	GXにおける水素の役割と金融への期待－我国の総意で早期に水素社会の実現を－	愛知工業大学 総合技術研究所 教授　近藤　元博
	サステナブル投資の健全な発展に必要な用語共有化とその重要性 －PRI・CFA協会・GSIAによるサステナブル投資用語統一の背景－	NPO法人日本サステナブル投資フォーラム（JSIF） 会長　荒井　勝
	サイバーセキュリティ経営における取締役の責務	株式会社サイリーグホールディングス 取締役・情報セキュリティ大学院大学 客員研究員　大越　いづみ
	事業会社のサイバーセキュリティ体制と課題	情報セキュリティ大学院大学 博士前期課程2年　坂井　武
	今、企業に求められるサプライチェーンリスク管理 －効果的／効率的なサードパーティリスクマネジメントの実践－	SecurityScorecard株式会社 代表取締役社長　藤本　大
	サイバーセキュリティと財務パフォーマンス／リスクとの重要な関連性	ビットサイト 投資管理パートナーシップ ディレクター ニコル・バスター・マツセク
特別寄稿	サイバーセキュリティのインシデントの情報開示規制に関する米国の動向	東京大学 名誉教授　神田　秀樹
	サイバーセキュリティのために必要な人材－DX推進と安全・安心の確保－	情報セキュリティ大学院大学 教授　藤本　正代
	企業の観点からのサイバーセキュリティ －サイバーセキュリティは情報技術の問題ではなく、企業経営の課題－	PwCコンサルティング合同会社 パートナー　丸山　満彦
	米国投資家は「投資先企業のサイバーセキュリティ開示情報」の何を評価しているのか	PwCコンサルティング合同会社 マネージャー　愛甲　日路親
	インパクト測定の標準化と企業価値の関係性 －エンゲージメントに資するインパクトの定量化－	野村證券 クオンツ・ソリューション・リサーチ部 クオンツアナリスト　倉持　純太 野村證券 金融工学研究センター長 太田　洋子
特集1：サイバーセキュリティに関する諸論点	サイバーセキュリティの概念と世界及び日本の現状	江夏　あかね
	金融資本市場における当局・金融機関によるサイバーリスクへの対処	門倉　朋美、江夏　あかね
	重要性が高まるサイバーセキュリティに関する金融商品の役割	富永　健司
特集2：日中におけるサステナビリティ情報開示	日本におけるサステナビリティ開示基準案の公表 －IFRSサステナビリティ開示基準を基礎とするSSBJ－	板津　直孝
	中国における上場会社のサステナビリティ強制開示規制の導入	宋　良也
ESG/SDGs	証券引受業務とファシリテイティッド・エミッション －資本市場仲介を通じた脱炭素への貢献－	磯部　昌吾
	地域間格差が顕在化するサステナブルファイナンス －欧米日におけるSDGs債の発行状況を中心に－	江夏　あかね
	「踊り場」から、「高度化」「多様化」を伴う「安定成長」へ －日本のサステナブル投資残高（2023年）－	西山　賢吾
	親子上場の状況（2023年度末）：随所に「潮目の変化」 －親子上場企業数200社割れ、親会社の持分減少が解消の主要因に－	西山　賢吾
	削減ペースが加速した政策保有株式 －政策保有にも求められる「緊張感を孕んだ相互信頼関係」構築－	西山　賢吾
	欧州監督機構が公表したSFDRの改正に向けた提言 －「サステナブル」と「トランジション」商品カテゴリーの創設－	富永　健司
	「新質生産力」の発展を目指す中国－カギとなる先端技術と産業の融合－	関　志雄
	トランジション・ファイナンスの促進に向けたASEANの取り組み	北野　陽平